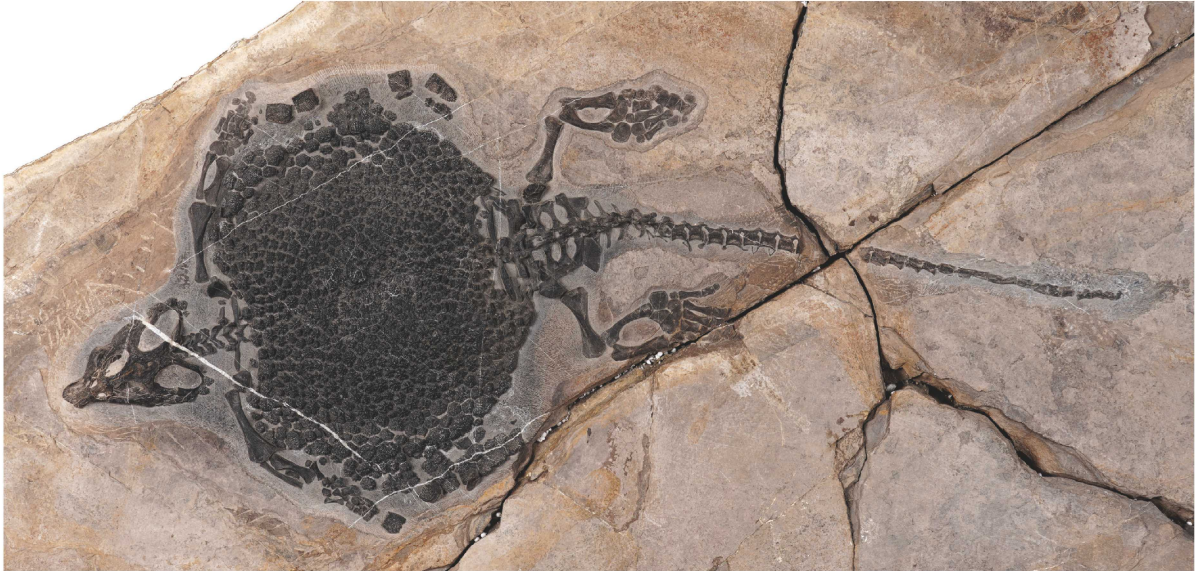


グリフォデルマ



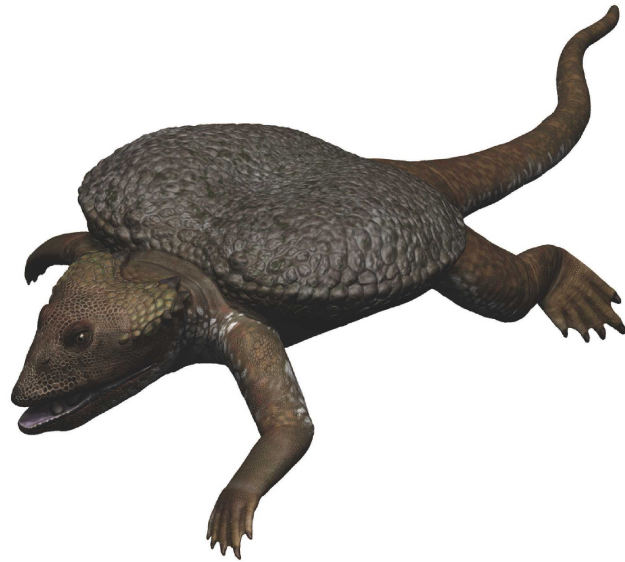
06 グリフォデルマ・カンギ

Glyphoderma kangi

分類：板歯目キアモドン上科プラコケリス科

時代：中期三畳紀（ラディニアン）

産地：中国・雲南省



背中の丸い甲羅は、細かな凹凸模様（glyph）の刻まれた小さな皮骨（derma）がたくさん集まってできていて、グリフォデルマの名前の由来にもなっています。キアモドン上科のように進化した板歯類は、独自に発達させた背中の甲羅で身を守っていました。この甲羅の発達には、魚竜類やタラットサウルス類など肉食性の大型海生爬虫類の

出現が影響していると考えられています。

グリフォデルマが属するプラコケリス科は最も進化した板歯類とされていて、その特徴のひとつが、先端に歯がなくなって細長く変化した口先です。これは、海底の砂を吹き飛ばし、砂に隠れた甲殻類や二枚貝などを見つけるのに役立ったのではないかと考えられています。